

文学部生のリアルな学生生活

Vol.41

文学部生のリアルな学生生活の様子を掲載し、ご父母の皆さまに文学部生の充実したキャンパスライフの風景、また文学部ならではの取り組み等の情報を発信いたします。



白門祭のProjectCOOP集合写真

Zoom会議の様子



文学部のオンラインキャンパスツアー

大学に入学したとき、多くの新入生は「どのサークルに入ろう?」と考えるのではないのでしょうか? 私も約2年前、そのことについて悩んでいました。そして見つけたのが、現在所属している「中央大学生協組織委員会「ProjectCOOP」という団体です。中央大学生協は中央大学に通う学生・

教職員(組合員)が出資金を出し合うことで運営されている組織で、ProjectCOOPは学生が主体となって組合員や地域の方々のためのさまざまな企画・広報などの業務を担っています。私にとってこの団体での活動が、大学生活での多くを占めることになりました。

自分を成長させてくれた  
オープンキャンパス

文学部人文社会科学科フランス語文学文化専攻3年  
私立錦城高等学校(東京都)出身

倉橋陽菜



大学2年次、私はオープンキャンパス企画の責任者を務めました。例年ProjectCOOPでは、大学で行われる中央大学入学センター主催のオープンキャンパスにおいて、Cスクエアにブースを設けて展示やトークショー、個別相談などを実施してきました。しかし私が責任者を務めた年は、新型コロナウイルス感染症による影響で対面での大規模なオープンキャンパスの開催がかわらず、オンラインでの実施となりました。例年と異なる形でのオープンキャンパス。先輩から教わることも限られる中、自分の中で大きな軸を一つ決めました。それは、「見た人が前向きな気持ちになれるオープンキャンパスにする」ということです。受験生や保護者の方々、大学受験を前にしてさまざまな不安・疑問を抱えていることと思います。そんな皆さんに、中大の魅力を伝えたいと考えました。

まず取り掛かったのは、実施するコンテンツを決めることです。ProjectCOOP

は学生主体の団体であり、さまざまな学部の学生が所属しています。これを活かすために何をするべきか、サークル内で話し合いました。その結果、オンライン展示、オンライントークショー、オンラインキャンパスツアー、質問募集を実施すると決めました。コンテンツが決まったら今度はコンテンツごとに班を編成し、140人近くいるスタッフをそれぞれの班に振り分けます。全スタッフ対象の班説明会を開催して希望を募り、無事班メンバーの決定に至りました。

また、対面での活動は禁止されていたため会議はZoomで実施し、各学部の特徴や来場者が知りたいことについて、みんなで意見を出し合いました。サークル内の全学年が出席する会議を仕切ることには責任を感じる一方、大いに刺激も受けました。

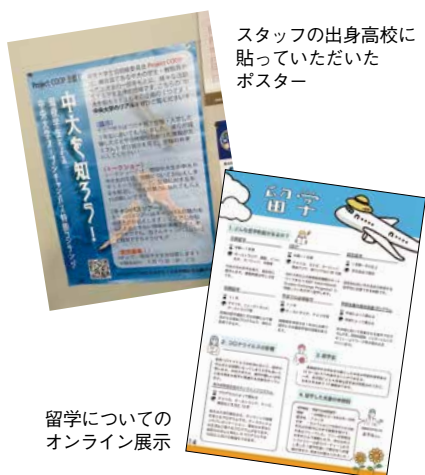
配布する資料やパワーポイントをわかりやすくすることはもちろん、会議内で話しやすい雰囲気を作ることも意識しました。

そうすることでより柔軟な意見が出ること  
を実感しました。

実際に制作した各コンテンツの成果物も  
ご紹介しましょう。オンライン展示では、各  
学部の情報に加え、スタッフのアルバイト事  
ページの資料にまとめ、ProjectCOOPの  
ホームページに掲載しました。オンライン  
トークショーでは、中大生の1日や受験期  
の過ごし方などについて、スタッフがトー  
ク形式で情報提供する動画を3本制作し、  
ProjectCOOPのYouTubeチャンネルに  
投稿しました。また、オンラインキャンパ  
スツアーでは、各学部棟への行き方やその  
学部の豆知識を紹介する動画と、図書館や  
ヒルトップなどの学部共通の施設を紹介す  
る動画など計8本を制作し、こちらもも  
YouTubeチャンネルに投稿しました。

コンテンツを作るうえで一番大変だっ  
たのは、スケジュールの調整です。これだ  
け多くのコンテンツを作るとなると、各班  
をさらに細分化してチームを組み合わせ、それぞ  
れの撮影や編集などを進めていく必要があ  
ります。私は責任者という立場から、スケ

スタッフの出身高校に  
貼っていただいた  
ポスター



留学についての  
オンライン展示

ジュールが遅れているチームはないかなど  
全体の進捗を把握し、必要に応じてサポー  
トするという役割を担いました。これによ  
り、プロジェクト全体を広く見渡す力を身  
につけることができたと思います。

また、質問募集においては、ホームペー  
ジに質問フォーム掲載するだけでなく、  
スタッフの出身高校に連絡を取って宣伝チ  
ラシを配布してもらいました。高校生の皆  
さんからは、専攻の詳細や赤本に取り組む  
時期などさまざまな質問が寄せられ、対面  
で相談に応じることはかなわなかったもの  
の、少しでも皆さんの疑問に答えることが  
できてうれしかったです。

そのほかにも中央大学入学センターの  
方とやり取りをして、中大のサイトに私た  
ちの活動を載せていただいたりもしました。  
オープンキャンパスの責任者を担当し一番  
うれしかったのは、アンケートで「実際に  
中大を見に行くことができていなかったの  
で、展示や動画がとても参考になりました  
！」という声をいただいたことです。本  
当にやって良かったと思います。

ProjectCOOPでは、オープンキャンパ  
ス以外にもさまざまな企画を行っています。  
昨年の白門祭では、女優の仲里依紗さん  
をお招きしてトークショーを開催しました。  
キャンパス周辺の清掃活動をしたり、  
SCOOPという情報誌を発行したりもし  
ています。この団体に入ったことにより、  
他ではできないさまざまな経験をするこ  
とができました。大変なこともあります  
が、仲間と協力してこれからも頑張ってい  
きたいと思っています。

## 文学部だより

# 「困難」を知ることでの次のステップへ

文学部 キャンパスソーシャルワーカー よねざわ とくよ 米澤 篤代

「キャンパスソーシャルワーカー」という言葉をご存知  
ですか？ 耳慣れない方が多いかもしれませんね。大学に  
は、「事務室」「学生相談室」「キャリアセンター」「ダイバ  
シティセンター」等、目的に応じてさまざまな相談を受け  
られる場所があります。その中で「キャンパスソーシャル  
ワーカー」は、「学修に何らかの困難を抱える学生へのト  
ータルな学修支援」を行っています。抱えている課題に応じ  
て、専攻の先生方やさまざまな機関と連携を取りながら、  
学修に取り組めるよう一緒に考えていきます。

たとえば、授業や試験のスケジュール管理が苦手、課題  
や発表の場で自分の意見を表現するのが苦手、人との関わり  
に不安を抱えているなど、相談内容は多岐にわたります。  
ここ数年はコロナ禍という特殊な状況下で、孤独や不安を  
感じる学生もいる一方で、オンライン授業だから周囲を気

にせず集中して授業に参加できたという学生もいました。

また、親元を離れて自己管理や自己判断の機会が多くな  
る大学生活の中で、孤独を感じたり、自分の特性に改めて  
向き合ったりすることで、悩む学生も少なくありません。

私たちキャンパスソーシャルワーカーと定期的に会って  
話をすることにより、安心して授業に向かうことができたり、  
自分で解決の糸口を見つけたりする学生も多く見られます。  
相談に来る学生の「困難を抱えている」という状況は、自  
分自身を理解したり、自分をとりまく環境や過去を捉え直  
したりする機会にもつながります。「困難」と向き合い、さ  
まざまな支援ネットワークを利用することで、重い荷物を  
軽くし、次のステップへと歩むことができるようキャンパ  
スソーシャルワーカーとして支援していきます。

文学部には2名のキャンパスソーシャルワーカーがおり、  
月曜から金曜まで相談を受けています。ご相談のある方は、  
文学部事務室か [b-csw-grp@g.chuo-u.ac.jp](mailto:b-csw-grp@g.chuo-u.ac.jp) にお問い合わせ  
ください。